



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年7月31日

上場会社名 株式会社 赤阪鐵工所 上場取引所 東
 コード番号 6022 URL <https://www.akasaka-diesel.jp>
 代表者 (役職名)取締役会長兼社長 (氏名) 杉本 昭
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役執行役員総務本部長 (氏名) 塚本 義之 (TEL)054(685)6081
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,119	△3.6	△28	—	△4	—	△6	—
2020年3月期第1四半期	2,198	△13.5	△81	—	△57	—	△39	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△5 21	— —
2020年3月期第1四半期	△26 51	— —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	12,135	7,779	64.1
2020年3月期	12,128	7,789	64.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 7,779百万円 2020年3月期 7,789百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	— —	— —	— —	30 00	30 00
2021年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
2021年3月期(予想)	— —	— —	— —	— —	— —

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2021年3月期の業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響や経済動向を踏まえた合理的な算定が現時点では困難であることから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示致します。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	1,540,000株	2020年3月期	1,540,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	215,419株	2020年3月期	215,419株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	1,324,581株	2020年3月期1Q	1,504,773株

(注) 当社は「株式給付信託（BBT）」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「株式給付信託（BBT）」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
3. その他	6
生産、受注及び販売の状況	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的とした緊急事態宣言の影響等もあり、社会経済活動の自粛により消費等が縮小し景気動向は大幅に悪化する厳しい状況で推移しました。

海運業界は、新型コロナウイルス感染症の拡大以前から、船腹過剰による市況の低迷が継続している状況にありましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により鋼材等の荷動きがさらに落ち込む厳しい状況となりました。

造船業界は、新造船の発注量が低迷する中、建造能力の高い中国や韓国の造船所が安値での受注確保に動き始めたこと等により、新造船市況は一段と厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社といたしましては、前第1四半期累計期間に比べ主機関の売上高は、ほぼ横ばいだったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により、各国の渡航規制や公共交通機関の減少で海外へのエンジニアの派遣が出来ず、修繕・アフターサービスの売上が減少した結果、当第1四半期累計期間は、売上高2,119百万円（前年同期比3.6%減）、経常損失4百万円（前年同期は経常損失57百万円）となりました。また、一部保有株式の当第1四半期会計期間末の株価下落により、特別損失として投資有価証券評価損を計上したこともあり、四半期純損失6百万円（前年同期は四半期純損失39百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は12,135百万円となり、前事業年度末に比べ7百万円増加いたしました。主な要因は、前事業年度末に比べ第1四半期末の株式相場が回復したことによる投資有価証券の増加等により固定資産が増加（61百万円）し、売掛金の回収等により流動資産が減少（54百万円）したことによるものです。

当第1四半期会計期間末の負債は4,356百万円となり、前事業年度末に比べ17百万円増加いたしました。主な要因は、長期借入金の借入等により固定負債が増加（115百万円）し、支払手形の決済等により流動負債が減少（97百万円）したことによるものです。

当第1四半期会計期間末の純資産は7,779百万円となり、前事業年度末に比べ10百万円減少いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が増加（36百万円）したことに対し、剰余金の配当等により利益剰余金が減少（47百万円）したことによるものです。

この結果、当第1四半期会計期間末における自己資本比率は64.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の拡大は、日本国内のみならず海外においても経済や企業活動に影響を与え、今後の完全な収束時期を予想することは困難な状況にあります。2021年3月期中には、一時的な影響はあるものの徐々に持ち直すものと仮定しております。しかしながら、2021年3月期の業績予想につきましては、現時点で今後の動向を見通す合理的な算定を行うことは困難であるため、通期業績予想及び配当予想については引き続き未定とさせていただきます。

業績予想の開示及び配当予想の開示が可能となった時点で、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,762,543	2,208,437
受取手形及び売掛金	3,468,246	2,899,247
製品	70,500	-
仕掛品	2,316,372	2,411,369
原材料及び貯蔵品	434,311	485,383
その他	53,406	46,331
貸倒引当金	△7,666	△7,455
流動資産合計	8,097,714	8,043,313
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,411,081	1,385,547
その他(純額)	1,411,657	1,442,287
有形固定資産合計	2,822,738	2,827,835
無形固定資産		
	97,675	97,072
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,135,313	1,192,221
貸倒引当金	△24,952	△24,952
投資その他の資産合計	1,110,360	1,167,268
固定資産合計	4,030,775	4,092,176
資産合計	12,128,489	12,135,490

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,351,868	2,295,402
短期借入金	275,052	330,068
未払法人税等	53,225	7,354
賞与引当金	137,600	67,411
製品保証引当金	173,738	128,507
その他	886,509	951,794
流動負債合計	3,877,992	3,780,538
固定負債		
長期借入金	289,803	382,290
引当金	40,980	43,987
その他	129,800	149,514
固定負債合計	460,583	575,792
負債合計	4,338,576	4,356,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,510,000	1,510,000
資本剰余金	926,345	926,345
利益剰余金	5,688,611	5,640,933
自己株式	△436,558	△436,558
株主資本合計	7,688,399	7,640,721
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	101,513	138,438
評価・換算差額等合計	101,513	138,438
純資産合計	7,789,913	7,779,159
負債純資産合計	12,128,489	12,135,490

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	2,198,450	2,119,580
売上原価	1,865,581	1,761,304
売上総利益	332,868	358,276
販売費及び一般管理費	414,400	387,177
営業損失(△)	△81,531	△28,901
営業外収益		
受取利息	68	49
受取配当金	13,888	12,703
スクラップ売却益	6,210	2,808
受取技術料	-	5,608
その他	5,805	5,950
営業外収益合計	25,973	27,120
営業外費用		
支払利息	1,523	2,030
固定資産除却損	0	790
その他	199	81
営業外費用合計	1,723	2,902
経常損失(△)	△57,282	△4,683
特別損失		
投資有価証券評価損	-	5,222
特別損失合計	-	5,222
税引前四半期純損失(△)	△57,282	△9,905
法人税等	△17,385	△3,006
四半期純損失(△)	△39,897	△6,899

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響について

新型コロナウイルス感染症の拡大は、日本国内のみならず海外においても経済や企業活動に影響を与え、今後の完全な収束時期を予想することは困難な状況にあります。2021年3月期中には、一時的な影響はあるものの徐々に持ち直すと仮定し、会計上の見積りを行っております。

なお、当該見積りは現時点での入手可能な情報によるものでありますが、今後の状況の推移により、当社の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

当社の事業は船用内燃機関及び部分品の設計・製造・修理・販売及びその関連事業を主体とした単一セグメントであります。

①生産実績

当第1四半期会計期間の生産実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	2,049,080	△6.8

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第1四半期会計期間の受注実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	1,679,710	△10.3	3,059,197	△31.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第1四半期会計期間の販売実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	2,119,580	△3.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。